

管理者
研修会

若い人の特性を 理解した上での **スタッフ教育・指導**



桑田みか氏



2人1組での実技も行われた

2月12日（木）佐賀市アバンセにて、管理者研修会「若い人の特性を理解した上ででのスタッフ教育・指導」を開催いたしました。講師に桑田みか氏（デュコミユニケーション代表）をお招きし、37医療機関より64名の参加がありました。

以下、参加者からの報告です。

勤務医の頃は気にならなかつたスタッフの言動が気になる。なんで、そんなこと言うの？するの？開業して1年ちょっと、分からぬことだらけのスタッフの言動でした。

院長になつて、一番難しいのは、治療やお金のことを考えることではなく、院内をまとめること、数少ないスタッフと同じ方向を向くことだと気付き

ました。そこで今回の研修会の案内を見て、わらをもつかむつもりで申し込みました。

①今どきのスタッフの特性について

自分の都合を優先する個人主義者が多いそうですね。これはスタッフの一個人的な特徴ではなく、世代として集団行動、团体行動をした経験に乏し

③男脳と女脳の違いについて
キーワードは、平等、競争、セスだそうです。女性は横社会で生きているので競争させると発奮なんかせずに、やる気を失う子の方が多いそうです。平等、公平に安心感を保てるような環境を作つてあげる方が、前向きに頑張れるそうです。また、結果だけで判断してしまいがちですが、プロセスを認めてあげ、「頑張ったね」「疲れたんだね」などの声を掛けられること

い世代なのでしょうがないことであり、大人のマナーとして、教えていく必要があります。つまり、「なんで?」なんて考える時間が無駄でした。知らないのだから繰り返し教える、それだけでいいそうです。

- ・ タイプ別に指導していくことの大切さなどが再確認できてよかったです。（看護師）
- ・ 若いスタッフに今までマイナスな指導をしてきたようで今回の講習でとても考えさせられました。（その他）
- ・ かなかあと思つていたことが理論的に理由付けられてクリアになつたのですつきりしたことがありました。

これらの視点を明日から診療に生かして、より良い医院をつくっています。

最後に講師のエデュコム（<http://educomi.sakura.ne.jp/>）の桑田みか先生、ご教授いただき本当にありがとうございました。HPに参考になる資料がありましたので、ご興味のある先生はこちらをぜひご覧ください。（Dr.N）

以下、アンケートの感想文を掲載します。

『意見・感想』（一部抜粋）

- ・若い人、男女の違いはとても参考になりました。（歯科医師）

医療保険制度改悪を取り組み等について

い） 国の財源のあり方や社会保障財源問題、指導問題など、各協会より活発な意見が出された。他協会の取り組みの報告では、鹿児島協会が支払基金へ事前質問を添えて懇談要請し、初懇談を行つたなど、参考になる取り組みを聞けた。

本年8月最後の土日に九州ブロック地域医療交流会を佐賀協会担当で唐津シーサイドホテルで開催することや、次回ブロック会議日程（5月10日）等の確認を行つて終了した（常任理事 千葉 研介）。

議論を阻止する

逃げようか
53人の犠牲者
となつた
いる。その
呼ばれたの
一番」とい
ある。郷ノ
はその慰靈
る▼ちなみ
「春二番」、
番」は桜が
ことから「
と呼ばれ、
桜が散る頃
「花散らし
れるそ�だ
(佐賀市)

冬型の気圧配置が崩れると、今まで太平洋岸を通過していた低気圧が、コースを日本海に向けるようになるらしい。この日本海低気圧のうち、春先、最初に発達して通過する低気圧に吹き込む強い南風を春一番というそうだ。その由来は、江戸時代で、しかも良い意味ではなく当時は悪い意味で使われていたという。今の使い方からすると想像できない▼安政6（一859）年旧2月13日は快晴であったという。そのため、漁船は壹岐沖の喜三郎曾根に向けて、一斉に出漁したのである。ところが、漁場に着きぎり掛けを終わるや否や、南の海上に湧き上がる黒雲を発見した。その時の気象の変化は急激で、仕掛け

「春三番」は、漁民に大いに喜ばれるものであります。今日「春二」と「春三番」は、港八幡崎に立つてゐる頃吹く風と呼ばれてゐます。

佐賀県保険医協会は、県民医療の向上をめざす医師・歯科医師の団体です